



## TEAM

# FUKUOKA NEWS

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニュース

10月2日 Vol.13

## “TEAM FUKUOKA” 続々と初陣

### 台風に負けるな！

台風の影響により、30日はソフトボールやセーリングなどが中止。また、サッカーやボートなどは、日程を変更して実施。午後から在来線や新幹線が運休するなど、予定を変更せざるを得ない団体も見られた。

こういった悪天候や交通手段の乱れは、選手のパフォーマンスに影響をもたらす。こんな時こそ、選手の力を十分に引き出すコンディショニングサポートやメンタルサポートなど、各競技団体の力の見せ所である。

### 剣道少年男女が準優勝！ 競技得点70点を獲得！

30日から始まり、成年男女は1回戦で善戦むなく敗退したが、少年男女ともに、ベスト4は本県を含む九州勢3県と地元福井県が残った。1日、少年男子は準決勝で福井県を下し、決勝で熊本県に惜敗。少年女子は、玉竜旗やインターハイなどで頂点に立った中村学園女子高校メンバーで勝ち上がったが、決勝で福井県に惜しくも敗退。



権藤監督(東福岡高校<教>)は、選手に寄り添い、声かけを行っていた。勝利至上主義ではなく、チームに良い空気が流れていた。また、女子の決勝戦(2-3で敗戦)について、県連盟の豊田氏は、「どちらが勝ってもおかしくない試合だったが、福岡は副将・大将が強いので、前半の戦い(3敗)がカギとなった。連盟として、国体前に『九州は一つ』の思いで、九州各県の剣道連盟と連携して合同練習を行ってきた。強化対策は万全だった」と述べた。



【アドバイスを送る権藤監督】



【少年女子チームメンバー】



【少年男子チームメンバー】

### バスケットボール成年男女・少年女子がベスト8進出！

全種別出場のバスケットボール競技は、1日、少年男子が1回戦愛媛県を大差で退け、2回戦へ進んだ。他の3種別については、揃ってベスト8へと勝ち進んだ。

特に、成年女子は、完全アウェイの中、地元福井県と対戦し、快勝！ 粘り強いディフェンスから、確実に得点を重ねた。

チームで最も小さな坂口千晶選手(宗像市立赤間小<教>)が、攻守に渡って獅子奮迅の動きを見せた。合後、坂口選手は「地元福井との試合だったので、会場の雰囲気や応援など少し不安があったが、チームで念入りに対策をしてきた。明日からも目の前の相手に集中したい」と語った。県協会の梅野会長も激励に駆けつけ、笑顔で選手や監督・スタッフに労いの言葉をかけた。H22の千葉国体で少年女子チームとして準優勝した選手達と地元大学生等で混成されたこのチームが、平成最後の国体で「優勝」という忘れ物を取りに好発進した。



【案浦監督の指示を聞く成年女子チーム】

国体の情報については、大会ホームページ (<http://fukui2018.pref.fukui.lg.jp/>) より、ご覧ください。

※Facebookにおいても情報発信を行っています。「ふくおかスポネット」で検索してご覧ください。

【発信元】福岡県立スポーツ科学情報センター スポーツ推進課 企画情報係